

社会実験バスの検証期間と本格運行の条件

参考資料 1

検証期間は最長2年間です。本格運行へ移行するためには、半年を1期とし、2期連続して平均収支率24%を達成することが条件となります。また、本格運行移行後も、平均収支率が24%以上であることが必要です（下表参照）。

【表 検証期間と本格運行の条件】

項目	内容
<p>検証期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検証期間は、最長2年間とします。但し、地域住民で構成する検討会の中で、継続の意思が認められない場合は、2年以内でも検証期間を終了します。 毎月の利用実績を基に、半年毎に平均収支率の検証を行います。 2期連続して平均収支率が24%を達成すれば、本格運行に移行します。 平均収支率24%を2期連続して達成できなかった場合は、運行計画の見直しやワンボックス車両での運行を再度検討します。 <div data-bbox="343 1115 1412 1758" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">試験運行から本格運行までの流れ</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">※収支率の検証を行い、必要に応じて計画の見直しを実施</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">区ホームページより抜粋</p>
<p>本格運行</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本格運行中も、半年ごとに収支率の検証を行います。 収支率が2年間連続して24%未満の場合は、バスの運行計画を再度見直します。